



# 第70回 日本生殖医学会九州支部会

会 長

青木 陽一

琉球大学大学院医学研究科環境長寿医科学 女性・生殖医学講座

# ● 第70回 日本生殖医学会九州・沖縄支部会 ●

日 時：平成25年4月21日(日)

評 議 員 会 8時45分～9時15分

総 会 9時15分～9時25分

会 場：**エルガーラホール**

福岡市中央区天神1-4-2

TEL (092)711-5017

会 長 青木 陽一

(琉球大学大学院医学研究科環境長寿医科学  
女性・生殖医学講座 教授)

〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町上原207番  
TEL 098-895-1177

# 会長挨拶

## 第70回日本生殖医学会九州・沖縄支部会の 開催にあたって

琉球大学大学院医学研究科環境長寿医科学 女性・生殖医学講座  
教授 青木 陽一



日本生殖医学会九州・沖縄支部会の皆様には、ますますご清祥にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

第70回日本生殖医学会九州・沖縄支部会を平成25年4月21日(日)に、福岡市天神のエルガーラホールで開催させていただくことになりました。まずは歴史ある本会、そしてその第70回目の支部会の開催を担当させていただきますこと、誠に光栄に存じます。日本生殖医学会の全国各ブロックの中でも本会は、非常に活発であり、九州・沖縄のみならず、日本の生殖医療の発展に大きく貢献している支部会であります。生殖医療に携わる医療スタッフが一同に集まり、日頃の成果を発表し疑問について熱く議論し、そして交流を深める場であります。例年の光景から伝わるその直向きさと熱心さは、他の学会と一線を画すものがあると思っております。

今回は、特別講演として日本生殖医学会理事長、慶應義塾大学医学部産婦人科産科教授の吉村泰典先生に「日本生殖医学会の現状と未来 —専門医制度のあり方について—」と題してご講演を頂くこととなりました。専門医制度を絡めた今後の生殖医学の進むべき方向と展望について、拝聴できることを大変楽しみにしております。

さらに、今年は、昼食時間も食事の手配に気づかうことなく、ディスカッションと知識を深めていただけるよう、ランチョンセミナーとして岡山大学大学院医歯薬学総合研究科産科・婦人科学教室教授の平松祐司先生に「生殖・周産期医療と糖尿病」のご講演を頂く予定です。生殖医療と周産期医療、どちらにも深く関わる糖尿病について、最新の情報を交えた大変興味あるご講演を心待ちしております。

また、今年もたくさんの演題のご応募を頂き、誠にありがとうございました。より多くの皆さんに発表頂けるよう、より議論が熱くなるよう、昨年大変好評を博しましたポスター発表の場を準備していただき、口演発表36演題、ポスター発表16演題の合計52演題のご発表を頂くこととなりました。例年どおり活発なディスカッションをよろしく願いたします。

それでは、多数の会員の皆様にご参加いただきますようお願い申し上げます。

## 参加者の方へ

- 1 参加費 4,000円
- 2 学会当日にはこのプログラムを持参してください。
- 3 質問がある方は予め質問マイクの近くに待機しておいてください。
- 4 日本産科婦人科学会専門医認定 A シール、日本産婦人科医会研修シールを発行いたします。当日ご芳名をご記入後、お受け取りください。後日配布は致しかねますので、ご注意ください。

## 口演発表者の方へ

- 1 口演時間はプログラムでご確認ください。
- 2 発表は PC パソコンによる発表のみとさせていただきます。必ずパソコンをお持ちください。
- 3 発表時間は8分(発表6分・討論2分)です。時間厳守でお願いします。

## ポスター発表者の方へ

- 1 ポスターはプログラムに掲載されている演題番号と同じ番号のパネルにご自身で添付をお願い致します。

掲示時間 — 8時45分～9時30分の間をお願いします。

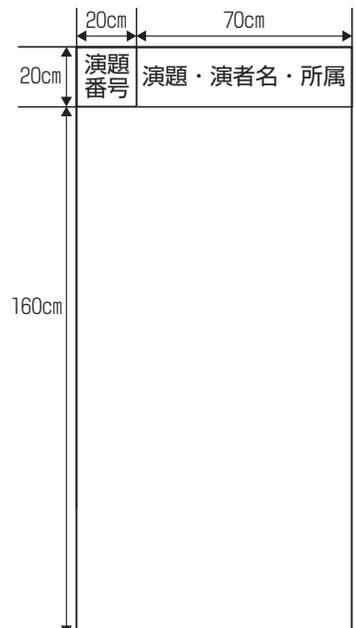
撤去時間 — 16時30分～17時の間に撤去してください。

### 2 注意事項

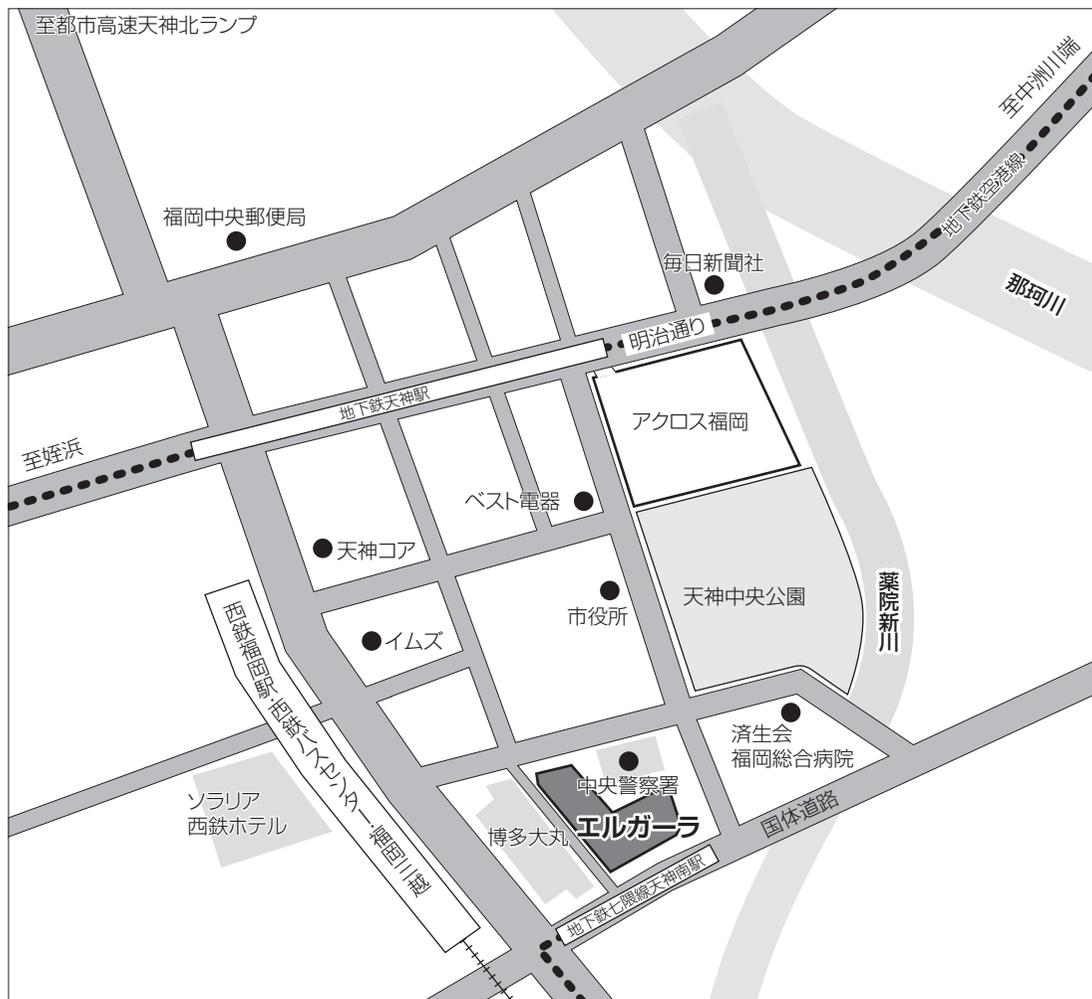
- (1) 最上部の演題番号は運営事務局で用意します。
- (2) 演題名、所属、演者名については横70cm×20cmで各自ご用意ください。
- (3) 演題名以外のパネルの有効部分は、横90cm×160cmです。内容の配置は自由ですが末尾には必ず結論を記載してください。

- 3 ポスター演題の発表時間の目安は1題6分(発表4分・討論2分)、4群同時進行とします。基本的には各群に座長をおき、進行は各座長の指示に従ってください。

掲示場所については HP 上に掲載予定ですので、併せてご確認ください。



## 会場案内



- |               |      |          |          |
|---------------|------|----------|----------|
| ●地下鉄空港線天神駅より  | 徒歩5分 | ●JR博多駅より | タクシー約10分 |
| ●地下鉄七隈線天神南駅より | 徒歩1分 | ●福岡空港より  | タクシー約20分 |
| ●西鉄福岡(天神)駅より  | 徒歩2分 |          |          |
| ●天神バスセンターより   | 徒歩3分 |          |          |

# 第70回日本生殖医学会九州・沖縄支部会 プログラム

日 時：2013年4月21日(日) 8時45分～

場 所：エルガーラホール

---

評議員会 8:45～9:15

総 会 9:15～9:25

開 会 9:25～9:30

会長 青木 陽一(琉球大学大学院医学研究科環境長寿医科学  
女性・生殖医学講座 教授)

## 口 演

---

**O-1群 [胚培養]** 9:30～10:02

座長：蔵本 武志(蔵本ウィメンズクリニック)

### O-1-1 卵丘細胞・卵子複合体の成熟確認がその後の体外発生能に与える影響

○打田 沙織、江頭 昭義、永渕 恵美子、田中 啓子、友原 愛、峰 千尋、中島 章、  
大塚 未砂子、吉岡 尚美、大坪 瞳、南 綾子、松隈 豊和、水本 茂利、  
前田 祐紀、伊福 光枝、蔵本 武志  
蔵本ウィメンズクリニック

### O-1-2 胚の初期動態は胚盤胞への発育と関連するのか？： EmbryoScopeTM を用いた胚の観察

○末永 めぐみ、篠原 真理子、江口 明子、川崎 裕美、伊藤 正信、松田 和洋  
松田ウィメンズクリニック

### O-1-3 タイムラプス撮影による Biopsy 胚の観察

○樽松 朋子、徳留 菜里、穂満 ゆかり、福元 由美子、黒木 裕子、佐藤 美月、  
粟田 松一郎、竹内 一浩  
竹内レディースクリニック附設不妊センター

### O-1-4 当院における Single medium を用いた培養液交換を行わない 胚培養成績の報告

○小林 倫子、西山 和加子、宮本 恵里、山本 新吾、塚崎 あずさ、古賀 美佳、  
岩崎 聡美、田中 麻理、佐護 中、有馬 薫、野見山 真理、小島 加代子、  
岩坂 剛  
医療法人社団高邦会 高木病院不妊センター

---

## ○-2群 [胚移植] 10:02～10:34

座長：井上 善仁(浜の町病院)

### ○-2-1 胚移植反復不成功症例に対する SEET 法(子宮内膜刺激胚移植法)の効果

○山口 ゆうき、小牧 麻美、柴田 典子、中村 千夏、木下 和雄、小山 伸夫  
医療法人 聖命愛会 ART 女性クリニック

### ○-2-2 難治性症例に対する分割期胚移植における、Embryo Glue<sup>®</sup>使用の有用性

○仲原 佑貴、江頭 昭義、永渕 恵美子、田中 啓子、友原 愛、峰 千尋、中島 章、  
大塚 未砂子、吉岡 尚美、伊福 光枝、大坪 瞳、南 綾子、松隈 豊和、  
打田 沙織、水本 茂利、前田 祐紀、村上 正夫、蔵本 武志  
蔵本ウイメンズクリニック

### ○-2-3 分割期胚移植における胚移植用培地(Embryo Glue)の効果

○國武 克子、泊 博幸、内村 慶子、池邊 慶子、竹原 侑希、川窪 雄一、  
早田 瞳、村上 真央、本庄 考、詠田 由美  
IVF 詠田クリニック

### ○-2-4 当院における6日目不良胚盤胞移植についての検討

○田尻 翔太、松下 富士代、佐多 良章、永野 明子、松木 祐枝、邑上 沙瑤子、  
岩政 仁  
ソフィアレディースクリニック水道町

---

## ○-3群 [不育症・その他] 10:34～11:14

座長：本田 律生(熊本大学産科婦人科)

### ○-3-1 不育症における抗凝固療法の治療成績についての検討

○今村 亜紗子、井上 統夫、北島 道夫、カーン カレク、平木 宏一、  
増崎 英明  
長崎大学

### ○-3-2 抗リン脂質抗体症候群不育症に対する短期ヘパリン療法の試みと治療成績の検討

○正本 仁、安里 こずえ、平敷 千晶、銘苅 桂子、青木 陽一  
琉球大学医学部附属病院 周産母子センター

### O-3-3 着床前診断後の胚発生および妊娠率、流産率についての検討

○竹本 洋一、高橋 如、中嶋 美紀、加藤 由香、赤星 孝子、田中 威づみ、  
永吉 基、田中 温  
セントマザー産婦人科医院

### O-3-4 抗がん剤(シクロフォスファミド)投与によるマウス卵巣機能への影響

○小池 恵<sup>1)</sup>、熊迫 陽子<sup>1)</sup>、大津 英子<sup>1)</sup>、荒木 泰行<sup>2)</sup>、荒木 康久<sup>2)</sup>、  
宇津宮 隆史<sup>1)</sup>  
1)セント・ルカ産婦人科、2)高度生殖医療技術研究所

### O-3-5 複数施設で重症再生不良性貧血の治療を行っていた13歳患者が 無事採卵終了し、凍結保存となった1例

○竹森 ちはる、能勢 美帆、嶋津 幸恵、武谷 賞子、濱口 綾、白柿 ひろみ、  
田中 威づみ、御木 多美登、伊熊 慎一郎、永吉 基、田中 温  
セントマザー産婦人科医院

---

## 特別講演 11:20～12:00

座長：榎原 久司(大分大学産婦人科)

### 「日本生殖医学会の現状と未来 —専門医制度のあり方について—」

吉村 泰典 日本生殖医学会理事長  
慶應義塾大学医学部産婦人科教授

---

## ランチョンセミナー 12:00～12:55

座長：佐久本 哲郎(ALBA OKINAWA CLINIC)

### 「生殖・周産期医療と糖尿病」

平松 祐司 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科産科・婦人科学教室教授

## ポスターセッション

---

### P-1群 [ART1] 13:00～13:24

座長：沖 利通（鹿児島大学病院産科婦人科）

#### P-1-1 ART 採卵術に対するプロポフォル間歇投与麻酔法に関する検討

- 守田 道由、詠田 由美、本庄 考、愛甲 恵理子、谷口 加奈子、秋吉 弘美、泊 博幸  
IVF 詠田クリニック

#### P-1-2 体外受精における採卵決定時の卵胞径が治療成績に及ぼす影響

- 平敷 千晶、長田 千夏、平良 理恵、安里 こずえ、銘苺 桂子、青木 陽一  
琉球大学大学院医学研究科 環境長寿医科学 女性・生殖医学講座

#### P-1-3 ART 採卵時間に影響を与える因子の検討

- 詠田 由美、本庄 考、守田 道由、愛甲 恵理子、秋吉 弘美、谷口 加奈子、泊 博幸  
IVF 詠田クリニック

#### P-1-4 Day2胚とDay3胚のDay5胚盤胞率および良好胚盤胞率の比較

- 竹間 由理、江頭 由佳子、藤田 郁実、江上 りか、渡邊 良嗣、福原 正生、宮原 明子、新谷 可伸、小金丸 泰子、中村 元一  
医療法人高邦会 福岡山王病院 リプロダクションセンター

---

### P-2群 [ART2] 13:00～13:24

座長：銘苺 桂子（琉球大学産科婦人科）

#### P-2-1 hCG+rFSH 自己注射により射出精子が出現した非閉塞性無精子症の1例：精巣内エコーパターンの経時的観察

- 成吉 昌一、辻 祐治  
天神つじクリニック

#### P-2-2 高年者体外受精症例に関する検討

- 石松 正也  
石松ウイメンズクリニック

### **P-2-3** IVF 妊娠における Vanishing twin の妊娠予後に及ぼす影響

- 安里 こずえ、銘苅 桂子、長田 千夏、平良 理恵、金城 忠嗣、平敷 千晶、  
 正本 仁、青木 陽一  
 琉球大学大学院 医学研究科 環境長寿医科学 女性・生殖医学講座

### **P-2-4** 自然周期の凍結胚移植においても、新鮮胚移植より児の出生体重は重い

- 古恵良 桂子、渡辺 ナツ子、永浦 ひとみ、酒井 あゆみ、結城 裕之  
 中央レディスクリニック

---

## **P-3群** [子宮内膜症・看護] 13:00～13:24

座長：北島 道夫(長崎大学産科婦人科)

### **P-3-1** 子宮内膜症間質細胞における miR-196b の発現低下は増殖促進と apoptosis 抑制を介して子宮内膜症の病態形成に関与する

- 阿部 若菜、奈須 家栄、川野 由紀枝、河野 康志、橋原 久司  
 大分大学医学部

### **P-3-2** 子宮内膜症における DNA メチル化の異常

- 川野 由紀枝、奈須 家栄、阿部 若菜、甲斐 健太郎、河野 康志、橋原 久司  
 大分大学医学部

### **P-3-3** ヒヤリ・ハット報告 ～連携ミス事例を振り返って～

- 後藤 裕子、手島 しおり、上野 桂子、宇津宮 隆史  
 セント・ルカ産婦人科

### **P-3-4** 「看護学生に生殖看護を伝えて」～学生の意識のビフォー・アフター～

- 松尾 則子  
 国家公務員共済組合連合会 浜の町病院

---

## **P-4群** [症例] 13:00～13:24

座長：城田 京子(福岡大学産科婦人科)

### **P-4-1** 採卵手技後に膿瘍を形成した小チョコレートのお腫に対して「保存的エタノール洗浄療法」が奏効した一症例

- 粟田 松一郎、永井 由美子、立石 こずえ、内村 知佳、木下 春香、  
 竹内 美穂、竹内 一浩  
 竹内レディースクリニック附設不妊センター

**P-4-2** 完全中隔子宮および不完全腔縦中隔に対して子宮鏡下手術後に子宮内妊娠が成立した1例

○吉田 至幸<sup>1)</sup>、妹尾 悠<sup>1)</sup>、北島 百合子<sup>1)</sup>、中山 大介<sup>1)</sup>、藤下 晃<sup>1)</sup>、山口 敦巳<sup>2)</sup>、岡本 純英<sup>2)</sup>

1) 済生会長崎病院 婦人科、2) 岡本ウーマンズクリニック

**P-4-3** 精子死滅症(necrozoospermia)に TESE を施行して運動精子を回収できた1症例

○中村 千夏、柴田 典子、山口 ゆうき、小牧 麻美、木下 和雄、小山 伸夫  
医療法人聖命愛会 ART 女性クリニック

**P-4-4** 早発思春期で初発し、成長にともなって骨病変を呈するに至った McCune-Albright 症候群の一例

○伊藤 史子、本田 智子、田浦 裕三子、大場 隆、片渕 秀隆  
熊本大学大学院生命科学研究部 産科婦人科学分野

## 口 演

---

**O-4 群** [凍結] 13:30～14:02

座長：詠田 由美 (IVF 詠田クリニック)

**O-4-1** 凍結融解時に収縮した状態のまま回復しない胚盤胞の背景

○松木 祐枝、松下 富士代、佐多 良章、永野 明子、田尻 翔太、邑上 沙瑤子、岩政 仁

ソフィアレディースクリニック水道町

**O-4-2** ホルモン補充周期の凍結融解胚移植における hCG 投与の意義について

○古賀 文敏、阿部 真紗実、泊 恵理子、松井 美智代、大島 知絵、森園 美喜、沖 宏子、石澤 勤子

医療法人古賀文敏ウイメンズクリニック

**O-4-3** 子宮内膜が薄い症例に対する G-CSF の使用経験

○吉岡 尚美、大塚 未砂子、中島 章、村上 貴美子、江頭 昭義、蔵本 武志  
蔵本ウイメンズクリニック

**O-4-4** 凍結融解胚移植周期に施行した子宮鏡検査の有用性について

○木下 春香、永井 由美子、福元 由美子、立石 こずえ、内村 知佳、粟田 松一郎、竹内 美穂、竹内 一浩

竹内レディースクリニック附設不妊センター

---

## O-5群 [子宮内膜症] 14:02～14:34

座長：カーン カレク（長崎大学産科婦人科）

### O-5-1 卵巣チョコレート嚢胞を有する女性の疼痛と骨盤腹膜内膜症との関連

○村上 聡子<sup>1)</sup>、カーン カレク<sup>1)</sup>、北島 道夫<sup>1)</sup>、平木 宏一<sup>1)</sup>、藤下 晃<sup>2)</sup>、  
増崎 英明<sup>1)</sup>

1)長崎大学 医学部 産科婦人科、2)済生会長崎病院産婦人科

### O-5-2 子宮内膜症性卵巣嚢胞エタノール固定後の卵巣予備能の変化

○河邊 史子、越光 直子、長木 美幸、宇津宮 隆史  
セント・ルカ産婦人科

### O-5-3 子宮腺筋症例の体外受精・胚移植の臨床成績について

○永吉 基<sup>1)</sup>、田中 威づみ<sup>1)</sup>、御木 多美登<sup>1)</sup>、伊熊 慎一郎<sup>1)</sup>、田中 温<sup>1)</sup>、  
沖津 摂<sup>2)</sup>

1)セントマザー産婦人科医院、2)三宅医院

### O-5-4 子宮内膜症が周産期予後に与える影響

～子宮内膜症合併妊娠はハイリスク妊娠か～

○銘苅 桂子、長田 千夏、平良 理恵、安里 こずえ、平敷 千晶、金城 忠嗣、  
正本 仁、青木 陽一

琉球大学 医学部 産婦人科

---

## O-6群 [検査・一般不妊治療] 14:34～15:06

座長：河野 康志（大分大学産科婦人科）

### O-6-1 ブドウ糖を用いた超音波下卵管疎通性検査レボビストの代わりとなりうるか？

○岩政 仁、宮永 京子、草野 陽子、松下 富士代、佐多 良章、永野 明子、  
松木 祐枝、田尻 翔太、邑上 沙瑤子

ソフィアレディースクリニック水道町

### O-6-2 やせ型でインスリン抵抗性を伴う排卵障害症例に対する治療の検討

○寺田 陽子、神山 茂、佐久本 哲郎、徳永 義光

ALBA OKINAWA CLINIC

### **O-6-3 運動精子数が配偶者間人工授精の成績に与える影響について**

- 川窪 雄一、泊 博幸、國武 克子、内村 慶子、池邊 慶子、竹原 侑希、  
早田 瞳、村上 真央、本庄 考、詠田 由美  
IVF 詠田クリニック

### **O-6-4 内分泌と精液検査パラメーターからみた造精機能と生活習慣との 関連について**

- 熊迫 陽子、後藤 香里、大津 英子、長木 美幸、城戸 京子、佐藤 晶子、  
小池 恵、宇津宮 隆史  
セント・ルカ産婦人科

---

## **O-7群 [ART 成績] 15:06～15:38**

座長：宇津宮 隆司（セント・ルカ産婦人科）

### **O-7-1 当院における低刺激周期 ART の成績**

- 本庄 考、泊 博幸、愛甲 恵利子、詠田 由美  
IVF 詠田クリニック

### **O-7-2 ART 妊娠例における血中 $\beta$ -HCG 値とその上昇率は妊娠予後推測の 指標となり得るか**

- 川崎 裕美、末永 めぐみ、篠原 真理子、江口 明子、伊藤 正信、松田 和洋  
松田ウイメンズクリニック

### **O-7-3 当院 ART 出生児における男女比の検討**

- 溝部 大和、秋吉 俊明、南 志穂、松尾 完、上田 泰子、松尾 恵子、佐藤 春菜、  
福嶋 倫子、山口 敦巳、岡本 純英  
医療法人 ART 岡本ウーマンズクリニック

### **O-7-4 総合周産期母子医療センターからみた生殖補助治療後妊娠の検討**

- 伊東 裕子<sup>1)</sup>、城田 京子<sup>1)</sup>、河邊 麗美<sup>1)</sup>、清島 千尋<sup>1)</sup>、讃井 絢子<sup>1)</sup>、  
小濱 大嗣<sup>2)</sup>、吉里 俊幸<sup>2)</sup>、宮本 新吾<sup>1)</sup>  
1) 福岡大学 医学部 産婦人科、2) 福岡大学 総合周産期母子医療センター

---

## ○-8群 [精子・男性不妊] 15:38～16:02

座長：岩政 仁(ソフィア愛育会 ソフィアレディースクリニック水道町)

### ○-8-1 当院における Piezo-ICSI の成績とその適用条件の検討

○水本 茂利、江頭 昭義、永渕 恵美子、田中 啓子、友原 愛、峰 千尋、大坪 瞳、伊福 光枝、南 綾子、松隈 豊和、打田 沙織、仲原 佑貴、前田 裕紀、村上 正夫、中島 章、大塚 未砂子、吉岡 尚美、蔵本 武志  
蔵本ウイメンズクリニック

### ○-8-2 体外受精における精子奇形率と胚発生および妊娠率との関連性

○前田 祐紀、江頭 昭義、永渕 恵美子、田中 啓子、友原 愛、峰 千尋、中島 章、大塚 未砂子、吉岡 尚美、伊福 光枝、大坪 瞳、南 綾子、松隈 豊和、打田 沙織、仲原 佑貴、水本 茂利、村上 正夫、蔵本 武志  
蔵本ウイメンズクリニック

### ○-8-3 当院における最近3年間のクラインフェルター症候群患者に対する臨床成績

○御木 多美登<sup>1)</sup>、田中 威づみ<sup>1)</sup>、伊熊 慎一郎<sup>1)</sup>、永吉 基<sup>1)</sup>、田中 温<sup>1)</sup>、楠 比呂志<sup>2)</sup>、渡邊 誠二<sup>3)</sup>、竹田 省<sup>4)</sup>  
1) セントマザー産婦人科医院、2) 神戸大学大学院農学研究科動物多様性教室、  
3) 弘前大学大学院医学研究科生体構造医科学講座、4) 順天堂大学医学部産科婦人科学

---

## ○-9群 [リスク管理・意識調査] 16:02～16:34

座長：内田 聡子(浜の町病院産婦人科)

### ○-9-1 不妊治療施設におけるインシデントレポート ～発生状況と対策についての分析～

○手島 しおり、後藤 裕子、上野 桂子、宇津宮 隆史  
セント・ルカ産婦人科

### ○-9-2 不妊症患者の非配偶者間生殖補助医療に対する意識調査

○越光 直子、後藤 裕子、上野 桂子、宇津宮 隆史  
セント・ルカ産婦人科

### ○-9-3 妊娠・出産に対する意識調査 ～高校生・20代未婚女性・不妊症患者を対象に～

○岡田 清美、関 こずえ、後藤 裕子、上野 桂子、宇津宮 隆史  
セント・ルカ産婦人科

#### **O-9-4** ART 後の妊娠判定陰性時の看護

患者の年齢や採卵回数が面談の所要時間や支援内容に影響するか？

- 江隈 直子、村上 貴美子、久保島 美佳、井上 静、徳永 美樹、河野 照美、  
中島 章、大塚 未砂子、吉岡 尚美、蔵本 武志  
蔵本ウイメンズクリニック

---

**閉 会** 16:34～16:39

支部長 檜原 久司(大分大学 医学部 産科婦人科)

A series of 25 horizontal dashed lines spanning the width of the page, intended for writing or drawing.

# 一 般 演 題



## O-1-1

### 卵丘細胞・卵子複合体の成熟確認が その後の体外発生能に与える影響

○打田 沙織、江頭 昭義、永渕 恵美子、田中 啓子、  
友原 愛、峰 千尋、中島 章、大塚 未砂子、  
吉岡 尚美、伊福 光枝、大坪 瞳、南 綾子、  
松隈 豊和、水本 茂利、前田 祐紀、蔵本 武志  
蔵本ウイメンズクリニック

**【目的】** 卵丘細胞・卵子複合体(COC)の成熟確認は、倒立顕微鏡下での観察が必要でありその影響が懸念される。今回、採卵後の成熟確認がその後の体外発生能に影響を与えるか検討した。

**【対象および方法】** 2012年1月から9月までに、当院にてSplit-ICSIを施行した症例のうち、39歳以下で採卵回数3回以下の73周期を対象とした。採卵1時間後にCOCを伸展させ、予め成熟確認した197個のMII卵子をA群、卵丘細胞除去後に成熟確認した87個のMII卵子をB群とし、ICSI後の正常受精率、変性率、体外発生能を比較した。なお、COCはランダムに選択して確認を行った。

**【結果】** 正常受精率、ICSI後の変性率に差を認めなかった。Day3での7-9cellの胚の割合は、A群65.0%(89/137)、B群68.3%(41/60)と差を認めなかったが、フラグメンテーションが20%以下の胚の割合はA群81.0%(111/137)、B群95.0%(57/60)とA群で有意に低かった( $P < 0.05$ )。胚盤胞発生率は、A群54.0%(68/126)、B群64.3%(36/56)、fair以上の胚盤胞(ICMとTEが共にCを除く)の割合は、A群42.6%(29/68)、B群50.0%(18/36)とA群で低い傾向がみられた。

**【結論】** COCの成熟確認は、分割期胚でのフラグメンテーション増加や体外発生能を低下させる可能性が示唆された。

## O-1-2

### 胚の初期動態は胚盤胞への発育と関連する のか? : EmbryoScope™を用いた 胚の観察

○末永 めぐみ、篠原 真理子、江口 明子、  
川崎 裕美、伊藤 正信、松田 和洋  
松田ウイメンズクリニック

**【目的】** 胚のタイムラプス撮影培養装置 EmbryoScope™の導入により胚の形態だけでなく、連続的観察が可能となった。今回、胚の初期発育と胚盤胞への発育に関連があるのか検討した。

**【対象および方法】** 2012年6月～12月の期間に当院でICSIを行い、2前核確認後、胚盤胞培養を実施した96症例251個の胚を対象とした。ICSI後6日間培養を行い、胚盤胞培養後の結果をD5良好群、D5不良群、D6良好群、D6不良群、非到達群の5群にわけ、前核出現、前核消失、前核消失から第1分割まで、第1分割開始の4事象の平均時間を比較検討した。さらに第1分割で2cellとなった胚をと3cell以上になった胚に分け、各群に含まれるそれぞれの割合および多核の発現頻度についても検討を行った。

**【結果】** 前核消失時間、前核消失から第1分割までの時間、第1分割開始時間はD5良好群が非到達群に対して有意に早くなった。また第1分割が3cell以上であった胚はD5良好群の割合がD5不良群、D6不良群、非到達群に比べ有意に低かった。多核については有意差は認められなかった。

**【結論】** 胚の初期発育と胚盤胞への発育の関連が明らかとなり、EmbryoScope™を用いて胚の初期動態を確認することが分割期胚移植を行う際の指標となりえるのではと思われた。

## P-4-3

### 精子死滅症 (necrozoospermia) に TESE を施行して運動精子を回収できた 1 症例

○中村 千夏、柴田 典子、山口 ゆうき、小牧 麻美、木下 和雄、小山 伸夫

医療法人聖命愛会 ART 女性クリニック

**【緒言】** 精子死滅症の射出精子を用いて、卵子を受精させることは不可能であるので、精巣に生存精子を求めて、TESE を施行し、生存運動精子を回収できた症例を経験したので報告する。

**【症例】** 51 歳男性。他院にて不動精子症の診断を受け、当院に紹介された。視診、触診にて精巣は右精巣 5 cm × 2.5 cm、左精巣 5 cm × 2.5 cm とほぼ正常大で、停留辜丸および精索静脈瘤を認めなかった。当院での精液検査、HOST および Eosin 染色検査：①1 回目運動精子なし、生存精子なし (HOST 陰性および Eosin 染色赤染)。②2 回目運動精子なし、生存精子なし (HOST 陰性および Eosin 染色赤染)。③3 回目 (同日 2 回採精)、当日の採精 1 回目、2 回目とも運動精子なし、生存精子なし (HOST 陽性および Eosin 染色赤染)、同時に洗浄濃縮後にも観察するが、運動精子なし、生存精子なし (HOST 陰性および Eosin 染色赤染)。従って、精子死滅症と診断し、生存精子回収目的で TESE を施行した。TESE の結果：4 箇所組織を採取し、運動精子を確認した。また、培養後の上清にて、スライド上精子 100 匹中に運動精子 24 匹 (奇形：6/25) を確認した。すべてを凍結保存した。

**【結語】** 今回、射出精子において、生存精子を確認できない精子死滅症症例に TESE を施行することで生存精子 (運動精子) を回収することができた。従って、精子死滅症の症例には TESE を行うことで生存精子の獲得ひいては挙児獲得の可能性が示された。

## P-4-4

### 早発思春期で初発し、成長にともなって骨病変を呈するに至った McCune-Albright 症候群の一例

○伊藤 史子、本田 智子、田浦 裕三子、大場 隆、片瀨 秀隆

熊本大学大学院生命科学研究部 産科婦人科学分野

McCune-Albright 症候群は、多骨性線維性骨異形成、カフェオレ斑、内分泌腺亢進を三主徴とする、10 万～100 万人に 1 人に発症する稀な疾患である。今回、早発思春期で初発し、成長に伴って線維性骨異形成を呈するに至った McCune-Albright 症候群を疑う 1 例を経験したので報告する。症例は 9 歳の女児で、10 カ月時に乳房腫大がみられたが、1 歳 6 カ月時には自然消失した。2 歳 7 カ月時に不正性器出血がみられ、近医総合病院小児科を受診後に当院小児科へ紹介され、骨盤 MRI 検査で右側卵巣に 1.6 cm 大の嚢胞がみられたため、当科へ紹介、初診となった。身長は 97.8 cm (+2.17SD)、Tanner 分類は、乳房 3 度、腋毛 2 度、恥毛 1 度であった。血中 E2 は 393 pg/ml と高値であり、FSH と LH は共に測定感度以下であった。骨年齢は 5 歳 5 カ月で著明な進行がみられた。卵巣の単房性のう胞は自然消失し、E2 も低下したが、現在までに同様の所見を 3 回繰り返した。9 歳 8 カ月時に右側股関節痛を認め、骨シンチ検査で右股関節周囲と足根節への集積がみられ、線維性骨異形成の診断となった。以上より、不完全型の McCune-Albright 症候群と考えられた。McCune-Albright 症候群の症状や程度は多彩で、上記の 3 徴は加齢に伴って明らかになる場合も少なくない。早発思春期を呈する症例においては、長期にわたる注意深い対応が必要である。

## 日本生殖医学会九州・沖縄支部会 学会会長一覧

---

- 第56回 2000年11月19日 岡村 均（熊本大学医学部産科婦人科学教室教授）
- 第57回 2001年4月15日 瓦林達比古（福岡大学医学部産科婦人科学教室教授）
- 第58回 2001年10月21日 嘉村 敏治（久留米大学医学部産科婦人科学教室教授）
- 第59回 2002年4月21日 嘉村 敏治（久留米大学医学部産科婦人科学教室教授）
- 第60回 2003年4月27日 永田 行博（鹿児島大学医学部産科学婦人科学）
- 第61回 2004年4月18日 中村 元一（浜の町病院産婦人科部長）
- 第62回 2005年4月17日 田中 温（セントマザー産婦人科医院院長）
- 第63回 2006年4月9日 宇都宮隆史（セント・ルカ産婦人科院長）
- 第64回 2007年4月22日 蔵本 武志（蔵本ウィメンズクリニック院長）
- 第65回 2008年4月27日 堂地 勉（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科生殖病態生理学教授）
- 第66回 2009年4月26日 檜原 久司（大分大学医学部産科婦人科学教授）
- 第67回 2010年5月9日 増崎 英明（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科産科婦人科学教授）
- 第68回 2011年4月24日 詠田 由美（IVF 詠田クリニック院長）
- 第69回 2012年4月22日 片瀨 秀隆（熊本大学大学院生命科学研究部産科婦人科学教授）
- 第70回 2013年4月21日 青木 陽一（琉球大学大学院医学研究科環境長寿医学女性・生殖医学講座教授）
-

## 第70回日本生殖医学会九州・沖縄支部会

---

会 長：青木 陽一

発行者：琉球大学大学院医学研究科環境長寿医科学  
女性・生殖医学講座

〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町上原207番

TEL：098-895-1177 FAX：098-895-1426

事務局：大分大学医学部産科婦人科学教室

〒879-5593 大分県由布市狭間町医大ヶ丘1-1

TEL：097-586-5922 FAX：097-586-6687

出 版：(株)セカンド  株式会社セカンド

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11

TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025